

著者紹介

井上 克郎 (正会員)

昭和59年大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程修了(工博)。同年同大基礎工学部助手。平成7年同学科教授。現在同大学院情報科学研究科教授。プログラム解析や再利用の研究に従事。

鶴林 尚靖 (正会員)

1982年広島大学理学部数学科卒業。1999年東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系博士課程修了。博士(学術)。1982～2003年まで(株)東芝に勤務。2003年より九州工業大学情報工学部助教授。2003年本会山下記念研究賞受賞。アスペクト指向プログラミング、拡張可能プログラミング言語などの研究に従事。

大熊 智子 (正会員)

1994年東京女子大学文理学部日本文学科卒業。1996年慶應義塾大学政策メディア研究科修士課程修了。同年富士ゼロックス(株)入社。現在に至る。言語処理学会、計量国語学会、認知科学会各会員。

川名 茂之

1991年電子機器メーカーよりトヨタ自動車へ入社。電子技術部にて、自動車用エアバックECU(Electronic Control Unit)のソフトウェア開発からマネジメントに従事し、高信頼性ソフトウェアの開発手法を構築。現在は自動車用ソフトウェア信頼性確保手法の確立からシステム開発のプロセス改善まで取り組んでいる。

小谷 善行 (正会員)

1977年東京大学工・計数工学科・同博士課程修了。東京農工大学工・情報コミュニケーション工学科教授。工学博士。人工知能、自然言語、ゲーム、知識獲得等を研究。コンピュータ将棋協会設立にかかわり会長を経て、現副会長。

坂本 賢

1979年松下電器に入社。ビデオテックス、テレテキスト等の映像情報端末の機器組み込みソフトウェア開発に従事。1995年よりデジタル放送受信機のソフトウェア開発に従事し現在に至る。

鈴庄 忠司

同志社大学商学部卒業。日本ユニバック(現日本ユニシス)入社。都銀オンライン開発に従事。以後データベースを中心に開発に参画。1980年から住宅CAD開発に参画。メインフレーム、WS、PCで開発に従事。

須藤 修

1955年生。東京大学大学院情報学環教授。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士。主な著書「複合的ネットワーク社会」(有斐閣)、「デジタル社会の編成原理」(編著、NTT出版)など。

高山 信毅 (正会員)

1986年東京大学理学系研究科中退。徳島大学、MSRI(Berkeley)、神戸大学等に勤務。現職は神戸大学理学部数学科教授。博士(理学)。数学ソフトウェア関連の各種プロジェクトに参加したり組織化をしている。

田中 博文

1988年松下電器に入社。BTRONの研究開発に従事した後、テレビのソフトウェア、特にOS周りの開発に従事し現在に至る。

田丸喜一郎

1981年慶應義塾大学工学研究科博士課程修了。工学博士。同年、(株)東芝入社。半導体技術研究所にてマイクロプロセッサおよびシステムソフトウェアの研究開発に従事。その後、

本社技術企画室を経て現職。

鶴保 征城 (正会員)

1964年大阪大学工学部電子工学科卒業。1966年同大学院修士課程を修了後、日本電信電話公社入社。1989年NTT理事、ソフトウェア研究所長。1993年NTTデータ通信(株)常務取締役技術開発本部長。1997年NTTソフトウェア(株)社長。同年、情報サービス産業協会(JISA)理事、技術・通信委員会委員長。2001年本会会長。現在、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)参事、高知工科大学教授、奈良先端科学技術大学院大学客員教授。工学博士。

寺田 実 (正会員)

1981年東京大学工学部計数工学科卒業。同大助手、電気通信大学助手、東京大学助教授を経て、2002年より電気通信大学情報通信工学科助教授。工学博士。プログラミング、対話的システムに興味を持つ。

鳥居 宏次 (正会員)

昭和37年大阪大学工学部通信卒業。昭和42年同大学院博士課程修了。同年電気試験所(現産総研)入所。昭和59年大阪大学基礎工学部教授。平成4年奈良先端科学技術大学院大学教授。平成11年同大副学長。平成13年同大議長。工学博士。平成15年より、文部科学省リーディングプロジェクト「e-society基盤ソフトウェアの総合開発：データ収集に基づくソフトウェア開発支援システム」の研究代表者。専門はソフトウェア工学。ACM、IEEE、本会、電子情報通信学会各フェロー。

中島 震 (正会員)

1981年東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。同年NEC入社。同社情処グループ、R&Dグループ、法政大学を経て2004年より現職。1988～89年オレゴン大学客員研究員。2001年よりさきがけ「機能と構成」領域研究員。学術博士(東京大学)。フォーマルメソッドなどの研究に従事。2001年度山下記念研究賞。2003年度日本ソフトウェア科学会論文賞各受賞。

原田 康也 (正会員)

早稲田大学法学部教授(英語・言語情報副専攻担当)・同情報教育研究所所長・同ことばの科学研究所研究員・本会CE研究会運営委員・CIEC理事・NPO ILA運営委員・私情協英語教育IT活用研究委員会委員。

馬場 敬信 (正会員)

1970年京都大学工学部数理工学科卒業。1975年同大学院博士課程単位取得退学。電気通信大学を経て、現在宇都宮大学工学部教授。工学博士。1982年より1年間メリーランド大学客員教授。計算機アーキテクチャ、並列処理などの研究に従事。1992年本会Best Author賞、PDCS2002 Best Paper Awardなど受賞。著書「Microprogrammable Parallel Computer」(MIT Press)、「コンピュータアーキテクチャ(改訂2版)」(オーム社)など。

疋田 輝雄 (正会員)

明治大学理工学部情報科学科。専門分野はソフトウェアの基礎、プログラミング言語、ネットワークプログラミング。
<http://www.sb.cs.meiji.ac.jp/~hikita/>

平山 雅之 (正会員)

1986年早稲田大学大学院理工学研究科博士課程前期修了。同年(株)東芝入社。2003年大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了。現在、(株)東芝ソフトウェア技術センター参事。ソフトウェアの品質・信頼性技術に関する研究に従事。博士(工学)。

廣瀬 正

慶應義塾大学大学院計測工学修士課程修了。日立製作所システム開発研究所入所。OS、DB、ソフトウェア開発技術、AI研究に従事のうち、情報通信事業の事業企画を担当。現職、President, Hitachi America CVC。現在の研究分野はManagement of technology。IEEE会員。E-mail: tadashi.hirose@hal.hitachi.com
<http://www.hitachi.co.jp/cvc/>

藤井 直人

1990年岡山大学大学院工学研究科修了。同年オムロン(株)入社。1995年(株)アイアイジェイメディアコミュニケーションズ入社。IPマルチキャスト技術の普及に努める。2004年(株)インターネットイニシアティブ関西支社技術部に異動。現在、主にSI、NI案件のマネジメントに従事。

二上 貴夫 (正会員)

筑波大学自然学類卒業。東陽テクニカにて産業用のリアルタイム計測システム開発に従事。現在は、同社で組み込みソフトウェア開発コンサルタント。同時にSESSAME、TOPPERSなどの教育関係活動にかかわる。

前田 哲司

1984年京都工芸繊維大学工学部機械工学研究科卒業。同年松下電器に入社。AI・エキスパートシステムの研究開発を経て、1995年よりデジタル放送受信機のソフトウェア開発に従事し現在に至る。

増市 博 (正会員)

1991年京都大学工学研究科修士課程修了。同年富士ゼロックス(株)入社。1998～2000年米Stanford大学客員研究員およびXerox PARCコンサルタント研究員。博士(工学)。2003年言語処理学会優秀論文賞受賞。

益田 隆司 (正会員)

昭和38年東京大学工学部卒業。昭和40年(株)日立製作所。昭和52年筑波大学講師。助教授、教授。昭和63年東京大学理学部情報科学科教授。平成7～9年同大理学部長、大学院理学系研究科長。平成12年電気通信大学教授。平成16年4月より同大議長。本会論文誌編集委員、研究会主査、理事、監事を歴任。現在本会会長。

松本 健一 (正会員)

昭和60年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業。平成元年同大学院博士課程中退。同年同大基礎工学部情報工学科助手。平成5年奈良先端科学技術大学院大学助教授。平成13年同大教授。工学博士。エンビロカルソフトウェア工学、特に、プロジェクトデータ収集/利用支援の研究に従事。電子情報通信学会、IEEE、ACM各会員。

三好 圭哉

1982年神戸大学工学部電気工学科卒業。同年松下電器に入社。以来、AV家電組み込みソフトウェア開発に従事し現在に至る。早期からテレビにOSやウィンドウシステムを導入するなどテレビソフトの革新に興味がある。

村岡 洋一 (正会員)

早稲田大学理工学部、同副総長。1965年早稲田大学理工学部卒業。1971年イリノイ大学博士課程修了Ph.D.。日本電信電話公社電気通信研究所を経て、1985年より現職。

渡辺 晴美 (正会員)

1998年東京工業大学情報理工学研究科計算工学専攻修了。博士(工学)。現在、東海大学開発工学部情報通信工学科講師。組込みソフトウェア開発技術の研究に従事。

IT Text コンピュータグラフィックス

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・向井信彦 共著
A5判/280頁/2003年11月発行



好評既刊書

IT Text コンピュータネットワーク

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/216頁/本体2,500円(税別)

IT Text 音声認識システム

鹿野清宏・伊藤克巨・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著
A5判/216頁/CD-ROM付/本体3,500円(税別)



IT Text エージェント工学

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著
A5判/226頁/本体2,800円(税別)

IT Text ヒューマンコンピュータインタラクション

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

IT Text オペレーティングシステム

野口健一郎 著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

IT Text データベース

速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明 共著
A5判/196頁/本体2,500円(税別)

IT Text ソフトウェア工学演習

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著
A5判/228頁/本体2,800円(税別)

IT Text 情報リテラシー

海野 敏・田村恭久 共著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

IT Text 認知インタフェース

加藤 隆 著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

IT Text プログラム仕様記述論

荒木啓二郎・張 漢明 共著
A5判/210頁/本体2,800円(税別)

IT Text 情報と職業

駒谷昇一・辰己丈夫・楠元範明 共著
A5判/232頁/本体2,500円(税別)

IT Text アルゴリズム論

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

IT Text ソフトウェア開発

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著
A5判/224頁/本体2,800円(税別)

IT Text 基礎Web技術

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

IT Text 知識マネジメント

大澤幸生 編著
A5判/232頁/本体2,800円(税別)

IT Text 情報セキュリティ

宮地充子・菊池浩明 編著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)



読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約80名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWebページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4507.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375

おひいすらん

会員のみなさま、こんにちは。早いもので私も今年で勤続10年目となりました（調査研究担当となつてからは4年目ですが・・・）。その割にはまだまだ至らない点が多いのですが、お仕事で多忙であるにもかかわらず学会活動にご協力くださっている委員の皆様のお力になれるようこれからもがんばります。さて、みなさんもご存知のことと思いますが研究会には3領域あり、私は情報環境領域を担当させていただいております。研究会の登録人数は順調に伸びておりますし、特に当領域は新委員長のもと、新規分野も積極的に取り組む意向ですので今後もさらなる活性化が期待されます。ただ、学会会員数は年々減

少しているという厳しい状況です。そこで各研究会にご協力いただき、今年度、学生会員の方は研究会登録費を特別1,050円（1件のみ）とすることとなりました。みなさんの周りに研究会の登録を考えている学生の方がいらしたら、ぜひ本制度をお薦めください。また学生会員の皆様、ぜひこの機会に研究会の登録をご検討ください。ご登録の詳細は<http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/student.html>をご覧ください。今後は研究発表会の会場などでもご案内していく予定です。どうぞよろしく願いいたします。

（五味奈津子／研究部門）

会 員 各 位

過去に発行された当会会員名簿は「会員相互間の連絡や情報交換」を目的としています。

最近この目的をはずれ、「広告、諸勧誘、商取引等の営利活動に不正に利用される」方がおられますが、このような行為は厳重に謹んでください。名簿を廃却される場合にも、再利用されることのないようご注意願います。

また、上記不正利用にあてはまらない場合でも、受け取った相手が不愉快な思いをされないよう、節度を持った利用をお願いいたします。

当会では、現在会員名簿を発行しておりません。

■ 各種問合せ先 ■

（社）情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌（トランザクション）
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム
国 際	intl@ipsj.or.jp		国際会議、IFIP委員会
■ 管理部門			
総 務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPJS メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、4月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「安全で安心できるe-社会を実現するソフトウェアとシステム技術」には数多くのご意見をお寄せいただきました。ここではその一部を紹介いたします。

■特集記事を大変興味深く拝見させていただきました。ソフトウェアをどう開発・管理していくかということのほか、どうすれば安全といえるのか、安心といえるのかという客観的に定義するのが非常に難しい問題にも触れており、さまざまな課題があることを知ることができとても参考になりました。(菅原宏之)

■特集を読み、現在私たちが日常的に依存しているソフトウェアの安全性を保證することが困難なものであり、このままではさまざまな問題を発生させかねない状況であることが、具体例などによってあらためて認識させられた。特に、高品質なソフトウェアを開発できる多くの人材輩出のためにも、大学におけるセキュリティ教育、ソフトウェア工学教育の改善の必要性を感じるとともに、ソフトウェアエンジニアリングセンター構想の早期実現を期待したい。(匿名希望)

■電子政府が本格的に動き始めました。しかしながら、メリットばかりが強調され、問題点、とりわけセキュリティにかかわる問題については議論されていません。そういった意味で本特集はとても参考になりました。また、私自身、みずほ銀行のトラブルに(顧客として)巻き込まれ、大変な目に遭いました。トラブル発生については、かなり詳しい説明がなされましたが、善後策については、あまり耳にしませんでした。大変参考になりました。(水野光朗)

■「システムリスクに挑む：安全で安心できるe-社会を実現するソフトウェア開発・管理技術」は興味深く読ませていただきました。特に、あいまいなシステムの安全性について工学的な研究が進められていることが分かり、今後研究する上で大いに参考になりました。(匿名希望)

■システム管理に対する新たな手法であるオートノミックコンピューティングの記事と国としてのソフトウェアエンジニアリングセンターの実現に向けての取り組みに関する記事に非常に興味を持った。研究背景から理論まで図を用いて書かれており、理解しやすかった。(亀井靖高)

■「みずほのトラブルから何を学ぶか」は、期待して読んでいただけに多少がっかりした。つぎはぎシステムではなくて全体を作り直せばOKというのは苦笑させられる「教訓」だ。無制限に

作業時間がとれるならば、確かに全体を作り直したほうが良いものが作れるだろうが。ただし、全体を作り直せばバグ数の遞減曲線を上から下りなおすことになり、やっぱりトラブルは多発するはず。日経BP社の「システム障害はなぜ起きたか～みずほの教訓」によると、システム統合方針が二転三転して統合作業時間がまったく不足していたこと、無意味な機能比較を命じたために各社の技術陣を敵対関係においてしまったこと、技術陣が「間に合いません」と言い出せない状況にあったことなど、技術面ではなく上位の経営レベルのデシジョンが原因だという。こちらのほうが説得力があると感じた。あと、365ページ右側「システムを動かす人(経営者)が学んだことは、…」の説は非常にもっともである。感心した。ただ、みずほの経営者がこれを本当に学んだかどうかインタビューして確認したのだろうか？ 学んでいないほうに1票。(齊藤明紀)

■「みずほのトラブルから何を学ぶか」など、現状と問題を把握できる記事は有益である。現在のインフラは果たしてどの程度安全なのかと考えさせられた。(匿名希望)

解説記事には以下のご意見をいただきました。

■「大規模最適化問題への挑戦ークラスタ&グリッド計算の適用例についてー」が興味深かった。今後の展望の個所にあるように、一般のユーザが使いやすいようにしていく研究が大切であると思う。(高島栄一)

■「地上デジタル放送の開始にあたって」は時宜を得た解説記事でした。古典技術から最先端新技術への遷移の状況を、難しい技術にもかかわらず私のような素人にも分かりやすくかつ読みやすく解説していただき、読み応えのある記事でした。(岡田昌康)

■「Minority Gameの不思議」は、何気ないプレーヤのルールがある種の協調行動を生み出す源であることを分かりやすく説明しており参考になりました。(金井 貴)

■解説「正確な学習よりも得する学習」は、学習モデルの生成や評価法に関し、大変参考になる記事でした。我々が学習モデルを考える場合、どうしてもかかるコストは無視して、より完全な学習法を追い求める傾向にあります。ここに示された考え方は実際のシステムを作る上で大変役に立つと思います。今回の解決編を楽しみにしております。(匿名希望)

■解説「IPストレージ技術と実用化に向けての業界動向」について、以前、ストレージソリューションの仕事をしていたので、興味深く読みました。一昔前は、ファイバチャネルに比べ、IPネットワークは非常に遅い、という認識だったのに、最近の技術革新により、ファイバチャネルと比肩されるレベルまで改善されており、両者がシームレスに接続されつつある、という点に驚きました。(匿名希望)

また、連載記事「スマートタグ」に寄せられたご意見は以下の通りです。

■毎回興味深く読ませていただいております。今後の連載にも期待しています。(匿名希望)

■「ユビキタス社会における「ミューチップ」の役割」についてだが、アメリカと日本では使用用途が大きく違うといわれている。その点をもっと分かりやすく解説した記事を記載してほしいと感じた。(松田昭信)

■当方の本業である特許の世界でも、ICチップをさまざまな分野に応用した発明が数多く出てきているので、興味深く読みました。(匿名希望)

その他、コラムについて次のご意見をいただきました。

■「情報技術と教育：これからの工学教育を支える基本概念について」に興味を持ち読みましたが、もう少し詳細な内容の方がよかったと思います。特に教育理念(コラムでは基本概念と呼ばれています)の実践や運用、さらにその結果がないのは残念でした。コラムなのでページ数は仕方がないのかもしれませんが、教育は実践の部分を語らないと概念だけでは正確に捉えることが難しいのではないのでしょうか？(匿名希望)

■「インターネット生活向上委員会：SPAMを防ぐ」を読み、お勧めのフィルタを使ってみようと思った。今後の連載でも、このような「小粒でピリッ」としたアプリを紹介して欲しい。(匿名希望)

■理科系の論文ではTeXは必須であり、日頃からその利便性を享受しているため、その開発者の本をコラム「20世紀の名著名論：Donald E. Knuth：The TEXbook」で取り上げていたこと自体が非常に嬉しく、興味深く読ませていただきました。記事自体も開発者の意思やTeXの本質に触れられており、あらためてTeXの良さを認識できるものでした。(葛西正裕)

■コラム「アメリカITまわりの話題：雇用の流出」は技術者が常日頃備えておくべき、また、考えておくべき心構えについて詳細に記述してあり勉強になりました。(渋井二三男)

今後取り上げてほしいテーマや会誌の内容について、以下のご意見をお寄せいただきました。

■学問的な分野と実務的な分野がバランスよく編集・配置され

ることを希望します。特集などにおいても学問的な分野の特集があれば(その後の号で)実務的な特集が組まれるなど、補完的な「情報処理」を希望します。(田中邦明)

■3月号で2年にわたる長期連載を終えた連載「とっきょ Now!」ですが、特許庁精鋭という専門家の手によって、特許あるいは知財についてこれほどさまざまな角度から掘り下げて論じた企画は、少なくとも情報処理関係誌にはかつてなかったと思われ、会員にとって特許に対する(まがいものでない)知識・見識を深める大変素晴らしい企画だったと思います。今後も、特許に関する記事をタイムリーに取り上げていただくことを期待します。(匿名希望)

■コラム「情報技術と教育」について、これからどのような話題が出されるか興味を持っています。小学校から情報関係の授業が入ってきていますので、幅広く話題を提供していただけるとよいと思います。(藤井美知子)

■電子商取引がさまざまな分野で導入され標準化が進む中、実稼働が進んでいる分野(貿易におけるbolero.netなど)と未検討の分野(電子債権法(仮称))が存在し、電子商取引の現状というものが今一つ把握しにくい状況にあるかと思えます。さまざまな分野における電子商取引の現状を一望できるような特集記事があればぜひ読んでみたいです。(匿名希望)

■「人間」が介在する場合の「情報漏えい(たとえば顧客情報の漏えいなど)」への対応のためのソフトウェア技術やリスクマネジメントなどに関する企画が興味深いと思います。(深谷清之)

今月はこのほかにも、数多くのご意見・ご感想をいただきましたが、スペースの都合で記事のすべてを掲載することができませんでした。これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL:http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>に掲載していますので、そちらもご参照ください。

会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

【本欄担当 田近一郎, 野村佳秀/書評・ニュース分野】

ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>

でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax:(03)3518-8375
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4507.html

皆様からいただいた会誌へのご意見は下記Webページにも掲載しております。

<URL : http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html> (読者からの声)



IPSJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「社会人学生論文」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/si02.html	8月31日(火)		
	論文誌「産学連携論文」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/si01.html	8月31日(火)		
	論文誌「多様な社会的責任を担うコンピュータセキュリティ技術」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/csec.html	11月30日(火)		
7月13日(火)～ 7月15日(木)	第134回データベースシステム研究発表会 ～夏のデータベースワークショップ DBWS2004～ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DBS134.html		当日のみ	松山・奥道後温泉 ホテル奥道後
7月15日(木)～ 7月16日(金)	第162回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/NL162.html		当日のみ	北海学園大学
7月16日(金)～ 7月17日(土)	109回ヒューマンインタフェース・ 第52回音声言語情報処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/HI109SLP52.html		当日のみ	登別温泉ホテル まほろば
7月20日(火)～ 7月22日(木)	The 7th International Conference on High Performance Computing and Grid in Asia Pacific Region			大宮ソニックシティ
7月20日(火)	第26回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CSEC26.html		当日のみ	徳島大学工学部
7月21日(水)～ 7月23日(金)	DA シンポジウム 2004 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DA2004.html		6月25日(金) 締切延長しました!	遠鉄ホテル エンバイア
7月21日(水)	連続セミナー 2004第2回「spam 撃退術」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/semiindex.html			東京電機大学 神田キャンパス
7月27日(火)	第96回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/AL96.html		当日のみ	京都大学
7月30日(金)	第45回デジタル・ドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DD45.html		当日のみ	北海道大学 百年記念会館
7月30日(金)～ 8月1日(日)	第99回ハイパフォーマンスコンピューティング研究 発表会～2004年並列/分散/協調処理に関する『青森』 サマー・ワークショップ (SWoPP青森2004)～ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/HPC99.html		当日のみ	青森市文化会館
7月30日(金)～ 7月31日(土)	第50回プログラミング研究発表会～2004年並列/分散/協調処理 に関する『青森』サマー・ワークショップ (SWoPP青森2004)～ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/PRO50.html		当日のみ	青森市文化会館
7月30日(金)～ 7月31日(土)	第151回計算機アーキテクチャ研究発表会～2004年並列/分散/ 協調処理に関する『青森』サマー・ワークショップ (SWoPP青森2004)～ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ARC151.html		当日のみ	青森市文化会館
7月30日(金)	第63回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CH63.html		当日のみ	岩手大学
7月30日(金)	第34回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DSM34.html	5月28日(金)	当日のみ	大阪大学豊中 キャンパス
8月1日(日)	第97回システムソフトウェアとオペレーティング・システム 研究発表会～2004年並列/分散/協調処理に関する『青森』 サマー・ワークショップ (SWoPP青森2004)～ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/OS97.html		当日のみ	青森市文化会館
8月1日(日)	第10回システム評価研究発表会～2004年並列/分散/協調処理 に関する『青森』サマー・ワークショップ (SWoPP青森2004)～ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/EVA10.html		当日のみ	青森市文化会館
8月2日(月)～ 8月3日(火)	第56回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/MUS56.html		当日のみ	京都大学
8月2日(月)～ 8月4日(水)	東海支部「テクノフロンティアセミナー (TEFS) -触れてみよう、電子と情報の最先端に-」			名古屋大学工学部
8月3日(火)～ 8月4日(水)	JABEE 技術者教育プログラム自主研修会 http://www.ipsj.or.jp/12kyoiku/acre/T-Acc2004.html		7月23日(金) 定員になり次第	奈良先端科学技術 大学院大学
8月5日(木)～ 8月6日(金)	第136回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ICS136.html		当日のみ	ホテルメゾン軽井沢
8月18日(水)～ 8月19日(木)	第116回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CG116.html	6月18日(金)	当日のみ	定山溪温泉ホテル花 もみじ
8月19日(木)～ 8月20日(金)	第145回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SE145.html		当日のみ	秋田大学
8月22日(日)～ 8月24日(火)	夏のプログラミング・シンポジウム「アツと驚くプログラ ミング～Hacker's delight～」 http://www.logos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/prosym04/	6月4日(金)	7月2(金)	KKRはこだて (函館市)
8月26日(木)～ 8月27日(金)	東北支部「平成16年度電気関係学会東北支部連合大会」 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/			東北工業大学 (仙台市太白区)
8月26日(木)	第89回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/IS89.html	6月11日(金)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
9月2日(木)～ 9月3日(金)	第119回マルチメディア通信と分散処理第25回電子化知的 財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DPS119EIP25.html	6月25日(金)	当日のみ	北海道大学
9月4日(土)～ 9月6日(月)	第37回情報科学若手の会 http://wakate.aitea.net/		7月31日(土)	愛知県労働者研修セン ター サンパレ日ア瀬戸
9月7日(火)～ 9月9日(木)	FIT2004 第3回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2004/index.html		当日のみ	同志社大学 (京田辺キャンパス)
9月10日(金)	第110回ヒューマンインタフェース研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/HI110.html	7月2日(金)	当日のみ	ATR
9月10日(金)～ 9月11日(土)	第145回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CVIM145.html	7月14日(水)	当日のみ	京都工芸繊維大学

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月16日(水)～ 9月17日(金)	第76回情報学基礎・第163回自然言語処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/FI76NL163.html	6月30日(水)	当日のみ	早稲田大学西早稲田 キャンパス
9月17日(金)～ 9月18日(土)	北陸支部「平成16年度電気関係学会北陸支部連合大会」 http://jhes.ec.t.kanazawa-u.ac.jp	8月10日(火)		金沢大学工学部
9月24日(金)	第35回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DSM35.html	7月23日(金)	当日のみ	秋田大学ベンチャー ビジネスラボラトリ
9月24日(金)	第46回デジタル・ドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DD46.html	7月23日(金)	当日のみ	凸版印刷(台東区)
9月25日(土)	四国支部「平成16年度電気関係学会四国支部連合大会」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/sikoku/sikohome.html	7月30日(金)	7月30日(金) 当日可	徳島大学
9月27日(月)～ 9月28日(火)	九州支部「平成16年度電気関係学会連合大会」 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月20日(火)		鹿児島大学
9月28日(火)	連続セミナー2004第3回「ゲーベジコレクション技術の基礎」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/semiindex.html			東京電機大学 神田キャンパス
10月13日(水)	ソフトウェアアジア2004 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2004/index.html	8月16日(月)		明治大学アカデミー コモン
10月14日(木)～ 10月15日(金)	組込みソフトウェアシンポジウム2004 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-ESS2004.html	7月23日(金)		日本科学未来館
10月16日(土)	平成16年度電気・情報関連学会中国支部連合大会 http://rentai.yamaguchi-u.ac.jp/	8月10日(火)	8月2日(月)	山口大学
10月20日(水)～ 10月22日(金)	コンピュータセキュリティシンポジウム2004(CSS2004) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-CSS2004.html	8月16日(月)		北海道大学学術交流 会館
10月21日(木)～ 10月22日(金)	第51回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/PRO51.html	8月22日(日)	当日のみ	東京大学 駒場キャン パス
10月26日(火)～ 10月27日(水)	MPSシンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-MPS2004.html	6月16日(水)		名古屋大学
10月27日(水)～ 10月29日(金)	第137回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ICS137.html	8月27日(金)	当日のみ	ホテルメゾン軽井沢
10月28日(木)～ 10月29日(金)	第13回高品質インターネット研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/QAI13.html	8月20日(金)	当日のみ	産業技術総合研究所
10月29日(金)	連続セミナー2004第4回「地球シミュレーター」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/semiindex.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス
11月2日(火)	連続セミナー2004第5回「ヒューマノイド技術最前線」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/semiindex.html			東京電機大学 神田キャンパス
11月16日(火)～ 11月17日(水)	第16回コンピュータシステム・シンポジウム	7月23日(金)		機械振興会館
12月9日(木)～ 12月10日(金)	分散システム/インターネット運用技術シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-DSM2004.html	9月6日(月)	定員になり次第	広島市まちづくり 市民交流プラザ
12月17日(金)	連続セミナー2004第6回「ICタグ」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2004/index.html			東京電機大学 神田キャンパス
2005年				
1月11日(火)～ 1月13日(木)	第46回プログラミング・シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/prosym/			ウエルシティ湯河原 (予定)
1月31日(月)～ 2月4日(金)	SAINT2005 2005年インターネット応用国際会議 http://www.saint2005.org	7月1日(木)		イタリア(トレント)
3月2日(水)～ 3月4日(金)	第67回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/67kai/index.html			電気通信大学
4月4日(月)～ 4月6日(水)	The 7th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2005) http://isads05.swjtu.edu.cn/index.htm	9月15日(水)		Chengdu, China
5月30日(月)～ 6月1日(水)	20th IFIP International Information Security Conference (SEC2005)	11月15日(月)		幕張メッセ

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 6月7日 緊急企画ワークショップのご案内(参加無料) Winny 事件を契機に情報処理技術の発展と社会的利益について考えるワークショップ
- 5月31日 英文ページを公開いたしました
- 5月27日 FIT2004 講演論文集・CD-ROM 販売のご案内

[学会からのお知らせ]

- 6月4日 平成15年度業績賞・研究開発奨励賞の紹介
- 6月4日 平成16年度役員名簿
- 6月1日 名誉会員の紹介
- 6月1日 平成15年度功績賞・顕功賞の紹介
- 5月24日 第47回通常総会報告
- 5月20日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新いたしました

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 20,000 円（税込 21,000 円）
賛助会員（企業） 30,000 円（税込 31,500 円）
賛助会員以外の企業 50,000 円（税込 52,500 円）

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
*人材募集広告は会誌と同時にオーム社発行月刊誌「コンピュータ&ネットワーク LAN」にも掲載されます（料金の追加はありません）。ただしオーム社側の掲載については字数などの関係から大幅に編集されることをご了承ください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■慶應義塾大学理工学部・大学院理工学研究科

募集人員 教員 1 名
所属 学部はシステムデザイン工学科、大学院は、複合システム工学分野または空間・環境デザイン工学分野のいずれかの専修に所属
専門分野 「宇宙システム工学」分野あるいは「システム工学の理論」分野、教育面ではシステム工学、数理計画法、応用力学などの講義を担当できる方
応募資格 「宇宙システム工学」分野については、教授、助教授、専任講師で 45 歳以下が望ましい。「システム工学の理論」分野については、助教授、専任講師で 30～40 歳程度。どちらも博士学位取得または着任時取得見込みの方
着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
提出書類 履歴書、業績リスト、論文別刷（コピー可）、これまでの研究概要と今後の抱負（1500 字程度）
応募締切 平成 16 年 8 月 20 日（必着）
送付先/照会先 〒 223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉 3-14-1 慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 主任 青山藤詞郎
E-mail:aoyama@sd.keio.ac.jp Tel(045)566-1721 「教員応募（システム）書類在中」と朱書き書留

■高エネルギー加速器研究機構計算科学センター

募集人員 助手 1 名（任期なし）
専門分野/仕事内容 計算科学センターに属し、先端的なネットワークを応用して、大規模なデータおよび計算機資源を共有するデータグリッドや大型実験装置の遠隔制御をも含むコラボラトリ環境などに関する研究開発に従事する。それとともに、機構の情報セキュリティに関する業務を分担する
着任時期 決定後できるだけ早い時期
提出書類 履歴書（可能な着任時期を明記）、研究歴、着任後の抱負、発表論文リスト、主要論文別刷（5 編以内）、本人に関する推薦書または参考意見書
応募締切 平成 16 年 8 月 20 日
送付先 〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1 高エネルギー加速器研究機構総務部庶務課人事労務室人事第二係
「教員公募関係」と朱書き郵送の場合は書留
照会先 計算科学センター長 渡瀬芳行 E-mail:yoshiyuki.watase@kek.jp Tel(029)864-5472
その他 応募の際は、必ず計算科学センター長 渡瀬芳行に連絡し、研究内容などについて問い合わせること
<http://www.kek.jp/intra-j/> 人事公募 参照

■一関工業高等専門学校

募集人員 一般教科自然系 教授、助教授または講師 1 名
担当科目 情報処理、コンピュータ工学、卒業研究、特別研究など
応募資格 博士の学位を有する方または着任時までに取得可能な方。研究意欲を持ち、学生指導、課外活動に理解と情熱のある 52 歳までの方（着任時）
着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
応募締切 平成 16 年 8 月 31 日（必着）
照会先 制御情報工学科 主任 梅内晴成 E-mail:umeuchi@ichinoseki.ac.jp Tel(0191)24-4763
内容の詳細は、<http://www.ichinoseki.ac.jp/> をご参照願います

■慶應義塾大学理工学部情報工学科

- 募集人員 (a) 助手(有期), 専任講師または助教授 1名
(b) 助手(有期), 専任講師, 助教授または教授 1名
- 専門分野 (a) 情報通信メディア工学の関連分野
(b) コンピュータソフトウェア関連分野
- 応募資格 (a) 助教授の場合は30代半ば, 専任講師または助手の場合は20代後半から30代前半, 博士の学位を有し, 情報通信メディア工学などの関連分野で, 最近の研究業績が顕著であり, かつ, 専門分野について, 理論と実践に渡って研究・教育できる方, 業績・人物重視であるが, 専門分野に関しては, ユビキタス化に対応した情報ネットワーク技術, セキュリティ, メディアハンドリングなどの研究が含まれることが望ましい
(b) 助教授の場合は30代半ば, 専任講師または助手の場合は20代後半から30代前半, 博士の学位を有し, 最近の研究業績が顕著であり, かつ, 専門分野について, 理論と実践に渡って研究・教育できる方
- 着任時期 平成17年4月1日
- 提出書類 履歴書(市販のもので可), 業績書(著書, 原著論文, 国際会議, 国内口頭発表, 特許, その他自己アピールできる顕著な業績を分けて記すこと), 推薦書2通(様式自由), これまでの研究概要*, 将来の研究と教育の抱負* *2000字程度, 様式自由
- 応募締切 平成16年8月31日
- 送付先/照会先 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学理工学部情報工学科 主任 中川正雄
E-mail:nakagawa@nkgw.ics.keio.ac.jp Tel(045)566-1746 Fax(045)566-1747 「教員応募書類在中」と朱書き書留
*応募書類は返却いたしません

■神戸大学大学院自然科学研究科

- 募集人員 教授 1名
- 専門分野 知的ソフトウェア(知的ソフトウェア工学, 神経回路, パターン認識, ヒューマンインタフェース, OSなど)
- 応募資格 博士の学位を有し, 上記の専門分野に十分な研究業績があり, 大学院自然科学研究科博士課程後期課程担当可能な方
- 着任時期 平成17年4月1日以降のできるだけ早い時期
- 提出書類 履歴書, 研究業績, 研究提案書もしくはプロジェクト提案書, 教育業績, 教育に対する抱負, 照会できる研究者3名の氏名・連絡先
- 応募締切 平成16年8月31日
- 照会先 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院自然科学研究科情報・電子科学専攻 専攻長 上原邦昭
E-mail:uehara@kobe-u.ac.jp Tel(078)803-6215
- その他 詳細は <http://www.cs.kobe-u.ac.jp/koubo.html> を参照のこと

■湘南工科大学工学部情報工学科

- 募集人員 教授, 助教授, または講師 1名
- 専門分野 情報ネットワーク, オペレーティングシステム, ソフトウェア方法論, ソフトウェア工学などの分野
- 担当科目 確率論, 情報理論, ネットワークアーキテクチャ, ネットワークコンピューティングなど
- 応募資格 博士の学位を有し, 学部教育に関心のある方, 大学院指導もできることが望ましい, 年齢は55歳程度までが望ましい
- 着任時期 平成17年4月1日
- 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(著書, 論文, 国際会議論文などに分類), 主要論文別刷(5編), 今後の教育・研究についての抱負(A4用紙1枚程度), 推薦書1通, または本人の業績などをよく知っている方2名の氏名・所属・連絡先
- 応募締切 平成16年8月31日
- 送付先 〒251-8511 神奈川県藤沢市辻堂西海岸1-1-25 湘南工科大学事務局 事務局長 難波洋雄 「情報工学科教員応募書類」と朱書き書留
照会先 事務局 事務局長 難波洋雄 E-mail:namba@center.shonan-it.ac.jp Tel(0466)30-0252 Fax(0466)35-2055 または
工学部 情報工学科長 鷺見治一 E-mail:washimi@info.shonan-it.ac.jp Tel(0466)30-0205

■筑波大学大学院システム情報工学研究科

- 募集人員 教授または助教授 2名, 講師 3名
- 所属 コンピュータサイエンス専攻
- 専門分野 (1) ソフトウェア基盤分野 (2) 情報システム分野 (3) 知能情報メディア分野
- 応募資格 博士の学位を有し, 大学院における教育・研究の指導能力を有する方
- 着任時期 決定後できる限り早い時期
- 応募締切 平成16年8月31日(必着)
- 送付先/照会先 〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻長 田中二郎
E-mail:jiro@cs.tsukuba.ac.jp Tel(029)853-5343
- その他 結果通知:遅くとも平成16年12月末日までにご連絡いたします
詳細は http://www.sie.tsukuba.ac.jp/CS/doc_ad/2004-koubo.html を参照

■早稲田大学理工学部 電気・情報生命工学科

募集人員 助教授または専任講師 1名
 専門分野 「情報」をキーワードとする分野
 応募資格 博士の学位を有する方、または着任までに取得確実な方。着任時に35歳以下で、当学科の情報系基礎教育を背負う意欲のある、独立して研究室を運営し学生の指導と研究活動を活発に行える方。生命分野の基礎教育を受けた学生の研究指導に強い興味を持つ方
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書(様式不問)、業績リスト(様式不問)、主要論文別刷(5編、コピー可)各1部とそれぞれの要約(各800字程度)、これまでの研究概要と今後の研究計画*、教育に関する抱負*、本学科の理念と教育カリキュラム(当学科Webページ参照)に対する意見*、参考意見を聞くことができる方(2名)の氏名・所属・連絡先 *2000字程度、各1部
 応募締切 平成16年8月31日
 送付先 〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 早稲田大学理工学部電気・情報生命工学科連絡事務所内「電気・情報生命工学科教員選考委員会」宛 「教員公募書類在中」と朱書 *提出書類は返却いたしません
 照会先 電気・情報生命工学科 主任 石山敦士 E-mail:office@eb.waseda.ac.jp Tel(03)5286-3006 Fax(03)5286-3492
 学科Webページ: <http://www.eb.waseda.ac.jp>

■独立行政法人情報通信研究機構

募集人員 研究職員 若干名
 専門分野 情報通信部門(通信ネットワーク、(情報通信)ヒューマンコミュニケーション)、無線通信部門(無線通信システム・電磁環境、宇宙通信システム・衛星測位)、電磁波計測部門(地球環境計測、宇宙天気予報、標準周波数・標準時・高精度時空計測)、基礎先端部門(光情報通信、情報通信のための材料・デバイス、生物情報・生体物性)
 応募資格 博士学位をすでに有する、あるいは平成17年4月1日までに取得見込みの方。国籍不問、ただし原則として基礎的な日本語の読み書きと日常会話ができる方
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 訪問票(指定様式・写真添付)、研究経歴書(要約を含む)、論文リスト(誌上発表および口頭発表別)、主要な研究業績(著書あるいは論文3編程度、抜き刷り・コピー可)
 応募締切 平成16年9月1日
 送付先/照会先 〒184-8795 東京都小金井市貫井北町4-2-1 独立行政法人情報通信研究機構 総務部人事室人事グループ 宛
 E-mail:jinjig@ml.nict.go.jp Tel(042)327-7625 「研究職員公募」と朱書
 その他 詳細は <http://www2.nict.go.jp/so/f463/nict2005/2005kobo.htm> をご覧ください

■電気通信大学大学院情報システム学研究科

募集人員 助教授 1名
 所属 情報システム設計学専攻知識処理システム学講座
 専門分野 人工知能・知識処理(特に準記号処理系)、CSCL/W(グループウェアなど)、教育情報システム(先進e-Learningシステム、知的Webシステムなど)のいずれか
 応募資格 40歳前半までの博士の学位を有する方
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト(著書、査読付き論文、国際会議、解説、学会・研究会発表、その他(特許、報告書など)に区分し、共著者名はすべてご記入ください)、主要論文別刷(5編以内、コピー可)、今までの研究概要と今後の研究活動の抱負(A4用紙3枚以内)、業績などの問合せ先(2名)
 応募締切 平成16年9月6日(必着)
 送付先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報システム学研究科情報システム設計学専攻 専攻主任 田野俊一 「知識処理システム学講座助教授募集書類」と朱書し書留
 照会先 知識処理システム学講座 教授 岡本敏雄 E-mail:okamoto@ai.is.uec.ac.jp Tel(0424)43-5620 Fax(0424)89-6070

■近畿大学工学部情報システム工学科

募集人員 教授または助教授(大学院担当可能な方)もしくは講師 合計3名
 専門分野 情報工学、情報システム工学分野
 担当科目 情報技術関連科目、実習、演習
 応募資格 博士の学位を有し、専門分野の研究業績があり、教授、助教授については大学院博士前期課程の研究指導が可能な方
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト(著書、学術論文、シンポジウム、その他に分けて記載)、主要論文別刷(コピー可)、現在までの研究概要(A4用紙1枚程度)、着任後の研究計画および教育に対する抱負(各A4用紙1枚程度)
 応募締切 平成16年9月10日(必着)
 送付先 〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1 近畿大学工学部 工学部長 杉山一男 「情報システム工学科教員応募」と朱書し簡易書留
 照会先 情報システム工学科長 金指正和(かねざしまさかず) E-mail:kanezasi@hiro.kindai.ac.jp Tel(0824)34-7000 (ext. 895) Fax(0824)34-7011
 その他 書類審査で選考しますが、必要な場合には面接をさせていただくことがありますことをあらかじめご承知おきください

■近畿大学工学部電子情報工学科

募集人員 教授、助教授もしくは講師 計2名
 専門分野 情報工学、電子工学の基礎ならびに応用分野
 担当科目 コンピュータアーキテクチャ、ソフトウェア工学、ネットワークもしくはLSI設計のいずれかと電子情報工学実験
 応募資格 博士の学位を有し、専門分野の研究業績があり、教育研究に熱意がある方
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト(著書、論文、その他に分けて)、主要論文別刷(コピー可)、現在までの研究概要(A4用紙1枚程度)、着任後の研究計画および教育に対する抱負(A4用紙1,2枚程度)、その他参考資料があれば同封ください
 応募締切 平成16年9月10日(必着)
 送付先 〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1 近畿大学工学部 工学部長 杉山一男 「電子情報工学科教員応募」と朱書き簡易書留
 照会先 電子情報工学科長 八十島義行(やそじま よしゆき) E-mail: yasojima@hiro.kindai.ac.jp Tel(0824)34-7000 Fax(0824)34-7011
 その他 書類審査で選考しますが、必要な場合は面談させていただくことがありますことをあらかじめご承知おきください

■近畿大学工学部システムデザイン工学科

募集人員 助教授または講師、助手 2名
 専門分野 (1) 情報系(情報工学、ソフトウェア工学など) (2) 機械システム系(デザイン工学など)
 担当科目 (1) コンピュータ関連科目: ネットワーク、プログラミング演習など
 (2) 設計システム関連科目: 設計工学、CAD/CAM 関連講義や実習など
 応募資格 博士の学位を有し教育に意欲のある方。年齢は45歳以下が望ましい
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト(著書、学術論文、国際会議論文など種類別に記載)、主要論文別刷(コピー可)、現在までの教育・研究概要(A4用紙1,2枚程度)、教育・研究に関する抱負(A4用紙1枚程度)、その他(特記事項があれば)
 応募締切 平成16年9月10日(必着)
 送付先 〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1 近畿大学工学部 工学部長 杉山一男
 「システムデザイン工学科教員応募」と朱書き簡易書留
 照会先 システムデザイン工学科 学科長 教授 奥本泰久(おくもと やすひさ) E-mail: okumoto@hiro.kindai.ac.jp
 Tel(082)434-7000 (ext. 790), または 082-439-1110 (790) (ダイヤルイン) Fax(082)434-7011
 学科 Web ページ <http://www.hiro.kindai.ac.jp/02gakka/system.html>
 その他 書類審査で選考しますが、必要な場合には面接をさせていただくことがありますことをあらかじめご承知おきください

■佐賀大学学術情報処理センター

募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 学術情報処理センターシステムおよび全学基幹ネットワークの運営管理、ネットワークを利用した学術情報システムの整備充実、さらにこれらに関連する研究開発
 応募資格 情報科学または計算科学を専門とし、着任時に博士の学位を有するか、同等の能力を有すること。IPv6 ネットワーク、ネットワークセキュリティあるいは電子図書館システムの構築/運用の実績があることが望ましい
 着任時期 平成16年度後期のできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書、論文リスト(著書、査読付き学術雑誌論文、国際会議論文、その他に分類すること)、主要論文別刷(コピー可)、これまでの研究概要*、着任後の業務および研究への抱負*、応募者に関して照会できる方2名の氏名・連絡先 * 2000字以内
 応募締切 平成16年9月10日(必着)
 送付先 〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1 佐賀大学学術情報処理センター センター長 渡辺義明 「教官応募書類在中」と朱書き簡易書留
 照会先 情報処理センター 只木進一 E-mail: tadaki@cc.saga-u.ac.jp Tel(0952)28-8505 <http://www.cc.saga-u.ac.jp>

■神奈川大学理学部情報科学科

募集人員 教授、助教授、専任講師のいずれか 1名
 専門分野 ソフトウェアサイエンス
 担当科目 専門科目として、オブジェクト指向設計、ウェブプログラミング、セキュリティ、マルチメディア、ヒューマンインタフェースから1科目以上。基礎科目として、プログラミングおよびプログラミング演習など。卒業研究も担当していただく
 応募資格 博士の学位を有し、大学院における教育・研究の指導能力を有する方
 着任時期 平成17年4月1日
 応募締切 平成16年9月17日(必着)
 照会先 理学部情報科学科 主任 紀 一誠 E-mail: kino@info.kanagawa-u.ac.jp Tel(0463)59-4111 (ext. 2236)
 その他 提出書類、送付先、待遇などの詳細は <http://www.info.kanagawa-u.ac.jp> の教員公募情報を参照

■島根大学総合理工学部数理・情報システム学科

募集人員 助教授または講師 1名
 所属 情報分野
 専門分野 数理論理学, 形式言語学, 計算論など情報工学の基礎に関する各分野, またはソフトウェア設計・開発, 仕様記述などソフトウェア工学に関する各分野を優先いたします
 担当科目 原則として専門分野に近い情報系の講義・演習・実験など(記号論理学, プログラム言語, 人工知能, 情報数学, ソフトウェア工学などから)
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院博士後期課程の指導が可能である方. 教育・研究に熱意のある方. 国籍, 性別, 宗教を問わない
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績(業務経歴を含む・研究業績の記載方法は問合せ先 Web ページからダウンロードしてください), 主要論文または報告書の別刷(5編以内, コピー可), 今後の教育・研究に対する抱負(A4用紙1枚程度), 参考意見をいただける方の氏名・連絡先(2名)
 応募締切 平成16年9月24日(必着)
 送付先 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 島根大学総合理工学部長 宅和暁男
 郵送の場合は「数理・情報システム学科情報分野 教官応募書類在中」と朱書き書留
 照会先 数理・情報システム学科 情報分野 小林康幸 E-mail:kobayasi@cis.shimane-u.ac.jp Tel/Fax(0852)32-6471
<http://www.cis.shimane-u.ac.jp>
 その他 選考にあたっては書類審査後, 面接を実施することがあります. 選考結果は応募者ご本人に通知します

■有明工業高等専門学校電子情報工学科

募集人員 教授 1名
 専門分野 制御システム(情報系)
 担当科目 制御工学など
 応募資格 博士の学位を有し, 教育・研究および学生指導に熱意がある方で年齢50～55歳位までの方
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書(別紙様式), 研究業績リスト(A4用紙, 様式任意), 主要研究業績別刷(5編程度, コピー可), 主要研究業績概要(A4用紙, 様式任意), 教育・研究および学生指導に対する抱負(A4用紙1000字程度, 様式任意)
 応募締切 平成16年9月30日(必着)
 送付先/照会先 電子情報工学科長 内海通弘 E-mail:uchiumi@ariake-nct.ac.jp Tel(0944)53-8872 Fax(0944)53-8873
<http://www.ariake-nct.ac.jp/> 郵送の場合「電子情報工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留

■岡山大学工学部情報工学科

募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 計算機アーキテクチャ, プロセッサ工学, 基盤ソフトウェア, ソフトウェア工学, および関連する情報工学分野
 応募資格 博士の学位を有すること(35歳程度以下が好ましい)
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷, 今後の教育研究計画(1000字以内), 推薦書(ただし, 応募者について照会可能な方2名以上の氏名・連絡先を推薦書に代えることができる)
 応募締切 平成16年9月30日(必着)
 送付先/照会先 〒700-8530 岡山県岡山市津島中3-1-1 岡山大学工学部情報工学科 学科長 金谷健一 E-mail:jimu@it.okayama-u.ac.jp
 「教員応募書類在中」と朱書き書留

■東京理科大学工学部第一部経営工学科

募集人員 教授, 助教授または講師 1名
 専門分野 統計学およびその関連分野
 担当科目 統計工学, 実験計画法, 多変量解析, 経営工学実験など. 具体的な担当科目は相談の上で決定いたします
 応募資格 次の条件を満たす方: 博士の学位またはそれと同等以上の研究業績を有する方. 大学院での研究指導, 教育を担当できる, 原則として年齢45歳以下の方. 経営工学に強い関心・経験がある方
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書(面接などの連絡は原則としてメールで行いますので, 履歴書にはメールアドレスを必ず記入してください), 研究業績リスト, 主要論文別刷または著書(計3編), 研究・教育に対する抱負(A4用紙2枚以内)
 応募締切 平成16年9月30日(必着)
 送付先/照会先 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学工学部第一部経営工学科 学科主任 教授 山口俊和
 E-mail:yama@ms.kagu.tus.ac.jp Tel(03)5228-8351 (ダイヤルイン)
 「工学部第一部経営工学科教員応募書類在中」と朱書き書留 *応募書類は原則として返却いたしません
 その他 選考結果は応募者または推薦者にお知らせします

■東京理科大学工学部第一部経営工学科

募集人員 嘱託助手 1名(任期:3年)
 専門分野 情報工学・システム工学およびそれに関連する分野
 担当科目 情報メディア実験および数学演習
 応募資格 博士号取得者または平成17年3月までに取得見込みの方(着任時に学位を取得していること)で、30歳位までの教育・研究に熱心な方
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書、業績リスト、主要論文別刷(コピー可)、現在までの研究の概要*、経営工学の将来に対するビジョン*、博士号取得見込みの方は指導教授からの推薦書 *1000字程度
 応募締切 平成16年9月30日(必着)
 送付先/照会先 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学工学部第一部経営工学科 学科主任 教授 山口俊和
 E-mail:yama@ms.kagu.tus.ac.jp Tel(03)5228-8351(ダイヤルイン)「工学部第一部経営工学科助手応募書類在中」と朱書き
 簡易書留あるいは書留 *応募書類は原則として返却いたしません
 その他 選考結果は応募者にお知らせします

■東邦大学理学部情報科学科

募集人員 教授、助教授または講師 2名
 専門分野 計算、情報モデル、知能、メディア、コンピュータ、ネットワークなどの分野で、新たな人材を育成するための研究・教育に情熱を持っている方。応募者の研究テーマに関連して学生の向学心を引き出すことのできる情報科学実験カリキュラム(学部2,3年)を立てられる方
 応募資格 学位を有すること、55歳以下が望ましい
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書、業績リスト、主要論文別刷・プレプリントなど、これまでの研究概要と情報科学の研究・教育に関する研究計画および抱負、応募者のこれまでの研究業績をよく理解している方で、問合せ可能な方2名の氏名・所属・連絡先
 応募締切 平成16年9月30日(必着)
 送付先/照会先 〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1 東邦大学理学部情報科学科 学科主任 塚田 真
 E-mail:tsukada@is.sci.toho-u.ac.jp Tel/Fax(047)472-8680(直通)「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留

■東北工業大学工学部情報通信工学科

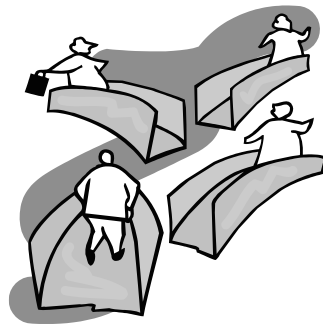
募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 コンピュータネットワーク、コンピュータハードウェア
 担当講義 コンピュータネットワーク、コンピュータハードウェア、学生実験(コンピュータ関連)など
 応募資格 博士の学位を有する方、もしくは着任までに取得見込みの方、学生の教育に熱意のある方、40歳以下が望ましい
 着任時期 平成17年4月1日
 提出書類 履歴書(学歴、職歴、教育歴、所属学会名、学会活動、社会活動など)、研究業績リスト(博士論文、学会誌論文、国際会議論文、解説論文、著書、特許などに分けて記載)、主要論文別刷(5編、コピー可)、東北工業大学での学生の教育に対する抱負(1000字程度)、応募者について所見をいただける方2名の連絡先(E-mail/電話番号)
 応募締切 平成16年9月30日(必着)
 送付先/照会先 〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1 東北工業大学工学部情報通信工学科 学科長 高野剛浩
 E-mail:ktakano@tohtech.ac.jp Tel(022)229-1151(ext.371) http://www.tohtech.ac.jp
 「教官応募書類在中」と朱書き簡易書留 *提出書類の返却はいたしません
 その他 選考方法:書類審査、面接

■豊橋技術科学大学工学部情報工学系

募集人員 教授 1名
 専門分野 マルチメディア、知能映像、生体情報、ヒューマンインタフェース
 応募資格 博士の学位を有し、専門分野に業績があり大学院学生の研究指導ができる方。専門分野および情報基礎科目に関する講義が担当できる方。着任時の年齢が55歳以下が望ましい
 着任時期 平成17年4月1日
 応募締切 平成16年9月30日(必着)
 照会先 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学情報工学系 教授 宇野洋二 E-mail:uno@system.tutics.tut.ac.jp
 Tel(0532)44-6773 詳細は、http://jrecin.jst.go.jp 参照のこと

■広島市立大学

募集人員 教授 2名 ((a) (b) 各1名)
 所 属 (a) 情報メディア工学科情報セキュリティ講座 (b) 知能情報システム工学科知能システム講座
 専門分野 (a) 情報セキュリティ, マルチメディア通信, 情報ネットワーク (b) 進化論的計算, 機械学習, e-ビジネス
 担当科目 (a) 情報理論, データ構造とアルゴリズム, 線形代数学 (b) 人工知能, 情報理論など (基礎科目も担当)
 着任時期 平成17年4月1日
 応募締切 (a) 平成16年10月29日 (必着) (b) 平成16年9月30日 (必着)
 照会先 (a) 情報メディア工学科 学科長 大場 充 E-mail:ohba@cs.hiroshima-cu.ac.jp Tel(082)830-1612
 (b) 知能情報システム工学科 学科長 高橋健一 E-mail:takahasi@its.hiroshima-cu.ac.jp Tel(082)830-1564
 その他 詳細は <http://www.hiroshima-cu.ac.jp/news/> 教員など公募情報を参照



ACM・IEEE・IEEE-CSの会費割引特典について

各学協会との協定により、本会会員の会費が割引になります (本会 Web ページ: <http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-ta.html> 参照)。会員の皆様におかれましては大いに特典を活用していただき、学術・技術の向上にお役立てください。なお、入会申込み等詳細につきましては各事務局に直接お問い合わせください。

1. ACM (Association for Computing Machinery) <http://www.acm.org/>
正会員 (Voting Member) 会費を 20% 割引
2. IEEE (The Institute of Electrical and Electronic Engineers, Inc.) <http://www.ieee.org/>
IEEE-CS (IEEE Computer Society) <http://computer.org/>
Full Member (IEEE および IEEE + IEEE-CS の会員) の会費を 10% 割引

【照会/入会申込先】

- ◆ ACM 日本事務局
〒107-0062 東京都港区南青山 5-10-5 九曜ビル 903
Tel (03)5466-1761 Fax (03)5466-1762
- ◆ IEEE 東京支部
〒105-0003 東京都港区西新橋 3-6-2 ツカサビル 6F
Tel (03)5776-7670 Fax (03)5776-7671
- ◆ IEEE-CS アジア・パシフィック・オフィス
〒107-0062 東京都港区南青山 1-4-2 南青山渡辺ビル 6F
Tel (03)3408-3118 Fax (03)3408-3553



第12回要求工学国際会議(RE'04)参加募集

<http://www.re04.org/>

ソフトウェア開発の最大の問題は要求分析工程にあると言われています。「要求工学」は、この要求分析を工学的に行う技術体系です。本分野の世界統一国際会議である「要求工学国際会議」を、わが国で初めて、下記の要領で開催致します。本会議に加え、基礎から最新技術に至る講習会、ホットな話題を討議するワークショップ、ポスター、ツール展示など、充実した内容です。多数の方々のご参加をお願いします。

会議のあらまし

日程：2004年9月6日(月)～11日(金)[6～7日, 11日：講習会・ワークショップ, 8～10日：本会議]

会場：立命館大学 衣笠キャンパス(京都市北区, 金閣寺近隣), 南山大学(名古屋市)

主催：情報処理学会ソフトウェア工学研究会, IEEE Computer Society

協賛：ACM SIGSOFT, 情報サービス産業協会, 日本情報システム・ユーザー協会, 日本ソフトウェア科学会

電子情報通信学会ソフトウェアサイエンス研究会・知能ソフトウェア工学研究会, ほか(予定)

後援：経済産業省

参加申込：上記のRE'04のWebページから申し込み下さい。8月6日までに登録を頂きますと、参加費が割引となります。

国内問合せ先：青山(mikio.aoyama@nifty.com)もしくは佐伯(saeki@cs.titech.ac.jp)までご連絡下さい。

過去の開催状況：<http://www.requirements-engineering.org/>

プログラムの内容

- 基調講演：下記の国内外の本分野の第一人者を予定。
 - ・ Nigel Cross (Professor of Design and Innovation at the Open University, UK)：創造的設計はいかに生まれるか
 - ・ 南方 郁夫 (松下電器産業 技監)：デジタル家電/組み込みソフトウェアの要求工学
 - ・ Axel van Lamsweerde (Professor of Université catholique de Louva, Belgium)：ゴール指向要求工学
- 一般講演：研究論文, 経験論文, 企業における事例報告。State-of-the-Practice は実務の最新技術・動向を世界の第一人者が解説。

講習会・ワークショップ

日程	時間	講習会(英語)		講習会(日本語)	ワークショップ			
9/6 (月)	9:00 ~ 12:30	T1: 要求駆動型プロダクトライン開発	T-2: ビジネスと開発の橋渡しとなる要求		W1: 高信頼性システム要求工学 (RHAS'04)	W2: サービス指向ソフトウェア要求工学 (SoRE'04)	W3: 要求工学におけるパターン (REP'04)	W6: ソフトウェア進化 (IWPSE '04)
	14:00 ~ 17:30	T3: 要求指向プロダクトライン開発	T4: 要求と創造性	J1: シナリオ分析入門				
9/7 (火)	9:00 ~ 12:30	T5: シナリオ開発法 (演習付き)		J2: 要求トレーサビリティとUMLへの適用	W4: 要求の比較評価 (CERE'04)	W5: ソフトウェア部品による開発の要求工学 (RECOTS'04)	DS: 博士論文シンポジウム	
	14:00 ~ 17:30	T6: ソフトウェアトレーサビリティ	T7: ビジネス価値に基づく要求評価					
9/11(土)	9:00 ~ 20:00	W7: 自動車ソフトウェア要求工学(AuRE'04) [本ワークショップのみ南山大学(名古屋)で開催]						

本会議

日程	時間	Track A (Research)	Track B (Practice)	Track C (State of Practice & Demo)	
9/8 (水)	9:30 ~ 11:00	Welcome & Opening Remarks Keynote 1: How Creative Design Happens, Nigel Cross (The Open University, UK)			
	11:30 ~ 13:00	Papers 1; Use Cases in Requirements	Panel: Future Challenges of Requirements Engineering	Vendor Presentations	
	14:00 ~ 15:30	Papers 2: Aspect-Oriented Requirements	Papers 3: Improving Requirements Processes	TBD	
	16:00 ~ 17:30	Open Forum: Formal Research Poster Presentations and Demonstrations			
	18:00 ~ 20:00	Reception			
9/9 (木)	9:00 ~ 10:30	Award Presentation: Best Paper and Most Influential Paper Awards Keynote 2: Requirements for Ubiquitous/Embedded Products, Ikuo Minakata (Matsushita Electric Co., Ltd, Japan)			
	11:00 ~ 12:30	Papers 4: Handling Non-Functional Requirements	Industry Reports 1: Selecting & Managing Requirements Processes & Tools	Vendor Presentations	
	14:00 ~ 15:30	Papers 5: Organizational and Socio-Technical Systems	Industry Reports 2: Requirements for Transport and Web Systems	State of the Practice Talks 1: Don Gause, Jeremy Dick	
	16:00 ~ 17:30	Papers 6: RE for COTS-based Systems	Panel: Requirements Engineering Theories	State of the Practice Talks 2: Jim Heumann; Ian Alexander	
	18:30 ~ 21:00	Banquet			
9/10 (金)	9:00 ~ 10:30	Keynote 3: Goal-Oriented Requirements Engineering: A Roundtrip from Research to Practice, Axel van Lamsweerde (University of Louvain, Belgium)			
	11:00 ~ 12:30	Papers 7: Visualizing & Animating Requirements and Goals	Papers 8: Managing Requirements Change and Traceability	State of the Practice Talks 3: Regina Gonzales; Sofia Guerra	
	14:00 ~ 15:30	Papers 9: Structuring & Transforming Requirements	Panel: Requirements Engineering Education	State of the Practice Talks 4: Speakers to be Finalized	
	15:30 ~ 16:00	Closing Session and Invitation to RE '05			

日程:2004年10月13日(水) [引き続き, 14日(木)-15日(金)に組込みソフトウェアシンポジウム(会場:日本科学未来館)を開催予定]

会場:明治大学 アカデミーコモン(東京都千代田区神田駿河台, 情報処理学会事務局隣)

主催:情報処理学会

協賛:情報処理振興機構, 情報サービス産業協会, 日本情報システム・ユーザー協会, 日本ソフトウェア科学会ほか(予定)

後援:経済産業省ほか(予定)

ソフトウェアジャパン宣言

ソフトウェアシステムとソフトウェア工学が新たな進化の段階を迎えています。企業ソフトウェアシステムは Web を介して相互連携が進むとともに、ソフトウェアサービスという新たな利用モデルが広がりつつあります。一方、組込み/ユビキタスシステムの普及に伴い、現代社会はいたるところにソフトウェアがある「ユビキタスソフトウェア」社会へと進化しています。この結果、近年の大規模システム障害が惹起するよう、ソフトウェアシステムの開発とオペレーションのリスクは社会全体を巻き込むほどに増大しています。

これに対して、ソフトウェア工学ではオブジェクト指向など様々な技術が統合され、進化を続けていますが、現場への普及は期待されているほどに進んでいません。わが国のソフトウェア産業の競争力の強化が求められています。ソフトウェアエンジニアリングセンターの設置はこの一環です。今こそ、わが国のソフトウェアシステムの研究・開発・運用に関わるすべての人々が、世界をリードできるソフトウェアシステムとソフトウェア工学の研究開発・実践へ挑戦すべきです。

「ソフトウェアジャパン 2004」はソフトウェア技術者、管理者、経営者が一堂に会し、実務的な視点から研究開発と経験の交流を図り、わが国のソフトウェア産業が直面する挑戦課題と今後の展望を討議する新たな場として企画しました。奮ってご応募・ご参加下さい。

発表募集

[募集テーマ]下記のトラックを予定していますが、これに限らずソフトウェア工学とソフトウェア開発の論文・経験報告を募集します。

- ・ソフトウェア工学とその実践
- ・オブジェクト指向/コンポーネント指向/サービス指向/アスペクト指向
- ・要求工学, ビジネスプロセスエンジニアリング
- ・非機能要求(セキュリティ, デイペンダビリティ, スケーラビリティ等)
- ・ソフトウェアパターンとアーキテクチャ
- ・検証・試験
- ・オープンソースソフトウェア
- ・ソフトウェアプロセスとプロセス改善
- ・プロジェクト管理, リスク管理, 品質管理
- ・メトリクスと評価
- ・IT 技術者の人材育成
- ・新たなアプリケーション領域
- ・開発事例・失敗事例

[募集内容]

(1) 発表のカテゴリと採否判定

研究論文(Research Paper), 経験報告(Best-Practice Report)の2つのカテゴリで募集します。

- ・研究論文は独創的研究成果を発表するもので、新規性/独創性、有用性、正確さを重視します。
- ・経験報告は、ソフトウェア工学とソフトウェアシステム開発の実践経験を発表するもので、速報性、有用性、正確さを重視します。

カテゴリ毎に上記の募集基準に基づき審査を行ない、採否を決定致します。

(2) 投稿の方法

研究論文・経験報告はシンポジウム指定の様式で8ページ以内にまとめて下さい。投稿時には以下の内容を網羅したカバーシートを添付して下さい。カバーシートの形式は任意とし、投稿原稿の分量に含めません。

発表カテゴリ(研究論文, 経験報告のいずれかを明記), 題目, 著者名, 概要(200字以内), キーワード(上記のテーマを参考に記入), 投稿者連絡先(氏名, 所属, 住所, 電話, FAX, E-mail)

(3) 企画セッション

上記の論文・事例報告以外にパネル, チュートリアル, ミニワークショップ等を計画しています。

(4) 今後の予定

投稿締切:2004年8月16日(月), 採否通知:2004年9月3日(金), 最終原稿提出:2004年9月27日(月)

(5) 表彰とトランザクション特集号

採録の研究論文・経験報告は論文集として刊行します。また、優れた論文と経験報告を表彰する予定です。

また、優れた研究論文・経験報告を今秋刊行予定の情報処理学会論文誌(ジャーナル)の特集号へ掲載を推薦いたします。

(6) 投稿/問合せ先:情報処理学会事業部門 Tel.(03)3518-8373 E-mail:jigyo@ipsj.or.jp

ESS2004 : Embedded Software Symposium
組込みソフトウェアシンポジウム 2004
 ソフトウェア工学を組込み開発に役立てるには?
<http://honiden-lab.ex.nii.ac.jp/ESS2004>

日程 : 2004年10月14日(木), 15日(金)

場所 : 日本科学未来館

(<http://www.miraikan.jst.go.jp/>)

主催 : 情報処理学会ソフトウェア工学研究会

協賛(予定) : 電子情報通信学会ソフトウェアサイエンス研究会, 電子情報通信学会知能ソフトウェア工学研究会, 情報サービス産業協会, 日本科学技術連盟, 電子情報技術産業協会, システム制御情報学会

組込みソフトウェア開発では、複雑化・大規模化、開発期間の短期化にともない従来の開発方法では対処が困難になりつつあり、工学的な方法の確立・導入が求められています。本シンポジウムでは、「ソフトウェア工学を組込み開発に役立てるには？」をテーマに、これまで蓄積されてきたソフトウェア工学の基礎技術をいかに組込み開発に応用するか、企業で実際に開発に従事している開発者が所有しているノウハウをいかに工学的に体系化するかを議論したいと思います。つきましては、下記のテーマを中心に、研究/経験論文および事例/ツールデモ報告を広く募集します。多数のご投稿をお願い致します。

募集テーマ :

- **基礎技術 :** 組込みシステムのモデリング, 言語, 形式手法, 視覚化, 解析/検証
- **基盤/ミドルウェア :** 組込み向け OS/ミドルウェア, ユーザインタフェース
- **開発/支援/管理技術 :** 要求分析, 設計/ソフトウェア・ハードウェア協調設計, プログラミング, テスト, 保守/進化, 開発プロセス, プロダクトライン, モデル駆動開発, メトリクス, プロジェクト管理, 品質管理
- **オブジェクト指向/エージェントと組込み :** 組込みソフトウェアとオブジェクト指向, エージェント, アスペクト指向, パターン, フレームワーク, アーキテクチャ, コンポーネント/サービス
- **アプリケーション :** ユビキタス, モバイル, 自動車, ITS, OA 機器, 情報家電など

スケジュール :

投稿締切 : 2004年7月23日(金)

採否通知 : 2004年8月30日(月)

最終原稿提出 : 2004年9月17日(金)

投稿先・問合せ先

submit@ess2004.media.kyoto-u.ac.jp

論文募集の詳細なご案内

<http://honiden-lab.ex.nii.ac.jp/ESS2004>

募集論文のカテゴリと形式 :

- 研究論文, 経験論文, 事例報告, ツールデモの4つのカテゴリで募集します
- 研究論文と経験論文の形式 : フルペーパー(8ページ以内)またはショートペーパー(4ページ以内)
- 事例報告とツールデモの形式 : 概要2ページ
- 特別企画としてMDDロボットチャレンジ(UMLロボットコンテスト特別編)を行います

運営組織 : 実行委員長 : 渡辺 晴美(東海大学), プログラム委員長 : 沢田 篤史(京都大学)

企画委員長 : 二上 貴夫(東陽テクニカ), 広報委員長 : 山本 修二(キャッツ)

論文委員長 : 野中 誠(東洋大学), ツール委員長 : 今関 剛(豆蔵), ホームページ管理 : 吉岡 信和(国立情報学研究所)

プログラム・実行委員 : 青木 利晃 (JAIST), 井上 健 (横河電機), 上田 賀一 (茨城大学), 神谷 年洋 (大阪大学), 川井 奈央 (キャッツ), 神原 弘之 (ASTEM), 河野 真治 (琉球大学), 紫合 治 (東京電機大学), 鈴木 正人 (JAIST), 高田 広章 (名古屋大学), 田村 直樹 (三菱電機), 中島 震 (国立情報学研究所), 林 康二 (横河電機), 人見 繁 (オムロン), 福富 三雄 (豆蔵), 松下 誠 (大阪大学), 松本 充広 (福岡知的クラスター), 結縁 祥治 (名古屋大学), 吉田 敦 (和歌山大学), 若林 一敏 (NEC), 渡辺 博之 (オービス総研)

ステアリング委員 : 青山 幹雄(南山大学), 平山 雅之(東芝)

2004年度 画像符号化シンポジウム(PCSJ2004), 映像メディア処理シンポジウム(IMPS2004) 開催案内

画像符号化シンポジウム(PCSJ)と映像メディア処理シンポジウム(IMPS)を、今年も清々しく静かな浜名湖畔の会場で以下のように開催することとなりました。画像・映像の符号化、処理等に関連する最新の研究成果の発表や意見交換を行うと共に、皆様の懇親の度を深める良きシンポジウムとなりますよう、是非ご投稿、ご参加頂きたくご案内申し上げます。

- 【日時】 2004年11月10日(水)午後～12日(金)
- 【会場】 浜名湖ロイヤルホテル(静岡県浜名郡雄踏町山崎4396-1) TEL.053-592-2222
- 【交通】 JR東海道線舞阪駅から車で7分または新幹線浜松駅から車で30分
- 【講演内容】 画像符号化、映像メディア処理に関する口頭発表・ポスター発表、特別講演、パネル討論等
- 【申込締切】 講演を申し込まれる場合 7月30日(金)
聴講参加される場合 10月8日(金)
- 【問合せ先】 NTTサイバースペース研究所 高村誠之
E-mail: pcsj-imps2004@lab.ntt.co.jp TEL.046-859-2371 FAX.046-855-1735
なお、詳細な開催案内、申込方法などに関する情報を以下のWWWサイトで提供しております。
PCSJ, IMPS ホームページ <http://www.hal.k.u-tokyo.ac.jp/pcsj/>
- 【主催】 電子情報通信学会画像工学研究専門委員会
- 【共催】 映像情報メディア学会メディア工学研究委員会・画像電子学会・
情報処理学会オーディオビジュアル複合情報処理研究会

この一冊で情報処理の理論・技術の
すべてがわかる!

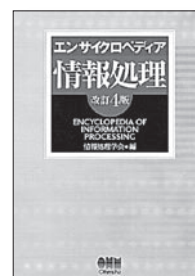
エンサイクロペディア 情報処理 (改訂 4版)

情報処理学会 編

A5判/604頁/定価5040円(税込)

会員特価4536円(税込)

情報科学、情報処理、情報工学、情報通信のすべての分野が概観でき、本質が理解できます。コンピュータ科学の入門書として1994年に発行して以来、急激な情報処理の進展に対応してきましたが、今回、前版発行後の理論・技術の発展をふまえ、全面的に本文の記述や図表、関連データを見直すとともに、ロボティクス、バイオインフォマティクスなど新しい展開を反映させています。



4-274-07943-0

主な目次

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1章 コンピュータリテラシー | 8章 プログラミング言語 |
| 2章 プロダクティビティツール | 9章 オブジェクト指向 |
| 3章 コンピュータネットワーク | 10章 ソフトウェア工学 |
| 4章 マルチメディアとバーチャルリアリティ | 11章 オペレーティングシステム |
| 5章 人工知能 | 12章 コンピュータアーキテクチャ |
| 6章 データベース | 13章 情報セキュリティと情報フロンティア |
| 7章 プログラミング | |

お申し込みは
情報処理学会へ

tosho@ipsj.or.jp
tel 03-3518-8374

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ 講演会、講習会などの論文募集・参加者募集 に限る。	1 ページ、	(主催・共催)
		1/2 ページまたは	1 ページ 52,500 円
		1/4 ページ	1/2 ページ 31,500 円
			1/4 ページ 21,000 円
			(協賛) 広告として取り扱う
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10 行程度	(国公立教育機関、国公立研究機関) 21,000 円
			(賛助会員（企業）) 31,500 円
			(賛助会員以外の企業) 52,500 円

■申込方法

任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

●行事次第書：

A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。

(1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm

(1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm

(1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm

* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

●人材募集：

次の項目を明記し、E-mail または Fax、郵送にてお送りください。

[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]

*なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし、翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

(社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

■ 研究発表会参加 [【http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/sanka.html】](http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/sanka.html)

研究発表会には自由に参加できます。開催に関する詳細等は本会 Web ページ (http://www.ipsj.or.jp/cgi-bin/ipsj_calendar.cgi) をご覧ください。

— 研究発表会当日参加について (発表者, 聴講者) —

- ◇ 研究会 (個人, 賛助, 準) 登録会員の当該登録研究会に参加の場合: 無料
- ◇ 研究会登録会員以外で研究発表会に参加の場合:

・ 情報処理学会会員	資料代として 1,500 円程度
・ 情報処理学会学生会員	〃 500 円
・ 非会員	〃 1,000 円 + 情報処理学会会員資料代

* 共催・協賛の開催の場合や、当日の資料がない場合は上記の限りではありません。
* 年間を通して参加の場合には登録をお願いします。

■ 研究会登録 [【http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/toroku.html】](http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/toroku.html)

研究発表会への年間を通して参加の場合、または研究会が配布する刊行物 (研究報告, 研究会論文誌等) を入手希望の場合には登録をお願いします。

* 各研究会登録費および配布予定物等の詳細は、平成 16 年度登録費一覧 (<http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/torokuhiet.html>) をご参照ください。
* 学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして「研究会準登録者」制度を設けております。詳細は調査研究担当までお問合せください。

■ 研究発表会発表申込方法 [【http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/happyo.html】](http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/happyo.html)

- ・ 会員は任意の研究会に次の方法で研究発表会の申込みをすることができます。
- ・ 発表希望者は、各研究会の募集内容に従って、発表題目、発表者名 (登壇者に○)、略称所属、概要 (50 字程度)、発表申込者連絡先 (住所、氏名、Tel、Fax、E-mail) を明記の上、E-mail または Fax で各研究会の照会先へ直接お申込みください。
特に募集のない研究会への発表希望は、調査研究担当宛に開催日の 3 カ月前までにお申し込みください。
- ・ 原稿執筆等の詳細は発表が決定 (通常開催月の 2 カ月前) しいお知らせします。
- ・ 発表者も通常参加基準 (上記当日参加参照) が適用されます。



おひいすらん



東京農工大の小谷先生から、第 14 回世界コンピュータ将棋選手権 (情報処理学会後援) で行われた日本将棋連盟所属のプロ棋士勝又五段と優勝した YSS との飛車落エキジビジョンマッチの原稿が送られてきました。「人間同士の対戦の場合は、上手の手付・場の雰囲気・段位などのヒューマンファクタが大きな影響を及ぼし、上手に有利な状況を作り出しているのではないか」と思っていました。将棋プロとコンピュータの場合もヒューマンファクタが相当程度影響することが分かり (世界最強のチェス・プレーヤ Garry Kasparov と IBM の Deep Blue の戦いもコンピュータ側の勝利は心理戦の影響が大きいと聞きます)、今後の展開がますます楽しみとなりました。

昨年の二枚落エキジビジョンマッチでは居合わせたプロが小声で「手合い違いです」(コンピュータが強すぎる) と教えてくださいました。それに対し、今回の勝又五段の作戦は:

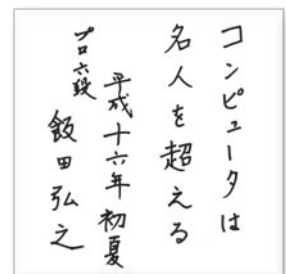
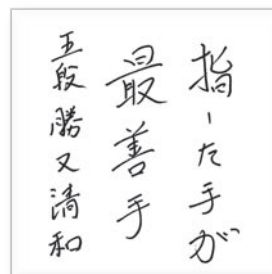
- ・ 試合の直前には大盤解説を休み力を溜める
- ・ 局所的な手を読むことはコンピュータの得意分野なのでドッグファイトを極力避ける
- ・ そのためには耐えるべきものは耐え忍ぶべきものは忍びチャンスを待つ

というものでした。その意図がどの程度コンピュータに通じるかが見所となります。実戦では、人間のアマチュア相手であったら当然勝負に行くところを、勝又五段は予定通り耐え忍び戦いにならないように注意し、その結果当初の構想通り、銀二枚と角で中央を制圧し、さらに両桂も跳ね出し圧勝と思える局面

を創出しました。勝又五段は「この辺で耐えるのはもういいだろう」と思ったかどうか分かりませんが、△ 6 五歩と戦端を開き、会場はプロの勝ちを信じて疑いませんでした。すると何やらバタバタと局面が進み、解説の高橋女流二段が「コンピュータの指し手が早くなってきました。大丈夫でしょうか」と言った途端に、プロが即詰に討ち取られました。会場からは両者の健闘を称えて、熱い拍手、拍手、拍手! (飯田六段と高橋女流の機智に富んだ解説への拍手もあったと思いますが)

へぼなりに分析すれば、局所戦を気にするあまりプロの実力が日頃の何分の一しか発揮できなかったあたりに問題があり、ということはヒューマンファクタが直接の敗因ではないでしょうか。私は何時も負けるのが悔しくて、この頃はコンピュータ将棋と遊んであげませんが、ゲーム情報学がさらに進化し、ヒューマンファクタを考慮した楽しめる将棋プログラムが出来上がり、私と遊んでくれる日の近いことを期待して止みません。

(湖東俊彦/事務局長)



訂 正

本誌 45 巻 6 号 (2004 年 6 月号) p.652 に掲載されました名誉会員の紹介で、山田尚勇氏の略歴に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(誤) 昭和 23 年 3 月 東京大学工学部電気工学科卒業

(正) 昭和 28 年 3 月 東京大学工学部電気工学科卒業

書評・会議レポート募集のお知らせ

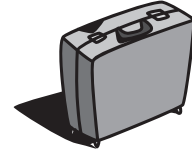
情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。

- 書評：過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- 会議レポート：情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。



3. 応募の手続き

- 表題：書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 評者名（会議レポートの場合は筆者名）・所属・評者連絡先（住所、E-mail、Faxなど）の記載を忘れずに。
- 本文：書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
- （必要であれば）参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆案内」（<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html>）を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会／応募先 （社）情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

情報処理学会からのお知らせ

情報処理学会電子図書館は BookPark に 移行しました

まずはユーザ登録を！

<http://www.bookpark.ne.jp/ipsj/>

BookParkに情報処理学会発行の出版物(会誌、論文誌、研究報告、欧文誌、英文誌)が載りました。創刊号から最新号まですべてのデータを収蔵。

情報処理学会会員の方は、無料*で閲覧することができます。

*BookParkで新たにユーザ登録を行っていただく必要があります。

*該当する出版物を購読されている方に限ります。また、会員の方でも会費や購読費が未納の場合、有料となる場合があります。

一般の方でも1編から購入することができますので、ぜひご利用ください。



ご意見をお寄せください！

【8月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4507.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 9-
10. 今月号 (2004年7月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a…大変参考になった b…よい c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

特集：組み込みソフトウェア開発技術

組み込みソフトウェア開発の現状	10-1-
組み込みソフトウェアの設計モデリング技術	10-2-
組み込みソフトウェアのモデル検査技術入門	10-3-
プロダクトライン開発技術	10-4-
組み込みプラットフォームの動向	10-5-
組み込みソフトウェア開発支援ツールの動向	10-6-
事例1ーデジタル家電ソフト開発の現状	10-7-
事例2ー車載ソフト開発の現状	10-8-
ユーザ参加型の住宅設計システム	10-9-
実証的ソフトウェア工学環境への取り組み	10-10-
文法記述に基づく言語解析の進展と多言語処理の可能性	10-11-
プログラム・ブロードワード：ケーブルマスタ	10-12-
デジタル数学公式集の現状と未来	10-13-
インターネット生活向上委員会：メールリスト管理ソフト	10-14-
20世紀の名著名論：Samir S. Husson: Microprogramming: Principles and Practices	10-15-
20世紀の名著名論：G. H. Barnes, R. M. Brown, M. Kato, D. J. Kuck, D. L. Slotnick, R. A. Stokes: The ILLIAC IV Computer	10-16-
日本のIT事情：ITと環境保全型経済	10-17-
アメリカITまわりの話題：市場性の追求	10-18-
飛車落ちのプロに勝ったコンピュータ将棋	10-19-
情報技術と教育：カリキュラム CC2001 について	10-20-

11. 特に興味を持ってお読みにになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問・今後取り上げて欲しいテーマ・また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。

原稿締め切り間際の5月末、エジンバラで開催された ICSE (International Conference on Software Engineering) に参加してきた。原稿の閲読割り当てや、自分の分担分の閲読作業や、閲読結果のフィードバックなど、編集委員としての業務も当然継続する必要があった。

一昔前はモジュラージャックさえないホテルなどもざらで、海外出張に行くとオフラインにならざるを得ない状況も多かった。それがいまやホテルでも会場でも無線 LAN が当たり前のように整備されており、何不自由なくオンラインで作業できるようになっている。それが結果として本業と、編集委員としての仕事と、学会参加とい

う三重苦を生むことになるので、便利になったのかある意味不自由になっているのか悩ましい。

この話にはオチがあって、エジンバラくんだりまで来てゲストエディタの方といろいろメールのやりとりをしていたのだが、学会の会場でばったりと件(くだん)のゲストエディタの1人と執筆者の1人とお会いした。相手がどこにいるのかまったく気にせずメールのやりとりをしていたが、何のことはない、お互い直接話した方が早いところにはいたとは。

(片岡欣夫/本特集エディタ)

次号(8月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」無線 LAN 技術を利用したインターネットの構築

今後の電波政策と情報通信/チップセット開発の動向/ IEEE の各規格の概要/無線 LAN の実用環境における性能/異ネットワーク間のモビリティ/無線 LAN を使った高速ハンドオーバー/無線 LAN とモバイル IP を用いた広域キャンパス無線 LAN の事例/無線 LAN とモバイル IP を用いた移動車両通信導入事例/無線 LAN による広域公衆サービス みあこネット/ITS における無線 LAN の活用と標準化の課題

解説

データ放送記述言語「BML」…………… 所 洋一
トピックス
情報規格調査会の活動報告…………… 情報規格調査会

連載 Web サービス/スマートタグ/プログラム・プロムナード

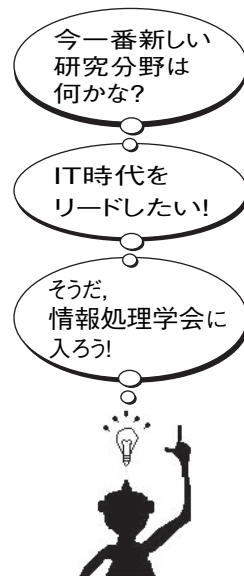
コラム アメリカ IT まわりの話題/インターネット生活向上委員会/情報技術と教育/20 世紀の名著名論/日本の IT 事情

会員募集中!!

**ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、
あなたのお役に立ちます。**

詳しくはWebサイト <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

申込/照会先 **社団法人 情報処理学会**
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



複写される方に

℞ <学術著作権協会依頼>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo
107-0052, Japan
E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp
Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA
Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744
<http://www.copyright.com>

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 -)

TEL ()

-

FAX ()

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-16-13

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A4 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A4 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。